【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2006-284530(P2006-284530A)
【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)
【年通号数】公開・登録公報2006-041
【出願番号】特願2005-108340(P2005-108340)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　27/447　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　21/64　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　27/26　３１５Ｋ
Ｇ０１Ｎ　21/64　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　27/26　３２５Ｂ
Ｇ０１Ｎ　27/26　３３１Ｅ
Ｇ０１Ｎ　27/26　３３１Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月12日(2008.2.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の構成を含む電気泳動装置：
泳動媒体を充填できる複数のキャピラリ：
複数のキャピラリを表面に配置する支持基板：
前記複数のキャピラリと、前記支持基板表面と、に直接接触し、前記複数のキャピラリを直接温度制御するヒータ：
キャピラリの両端に電圧を印加する電源：
電気泳動分離された試料に励起光を照射し、試料からの蛍光を検出する光学系。
【請求項２】
請求項１記載の電気泳動装置であって、
支持基板が、励起光が照射される複数のキャピラリを整列配置する検出基板を支持している電気泳動装置。
【請求項３】
請求項１記載の電気泳動装置であって、
支持基板が、複数のキャピラリに対応した複数の電極を保持する電極保持部材を備えている電気泳動装置。
【請求項４】
請求項１記載の電気泳動装置であって、
複数のキャピラリの泳動媒体注入端から泳動媒体を充填する泳動媒体充填機構を有し、
支持基板が、複数のキャピラリの泳動媒体注入端を束ね、泳動媒体充填機構と接続できるキャピラリヘッドを支持する電気泳動装置。
【請求項５】
請求項４記載の電気泳動装置であって、
複数の泳動媒体注入端が、キャピラリヘッドから突出して保持され、

キャピラリヘッドが泳動媒体充填機構に接続された際に、複数の泳動媒体注入端が下方を向いている電気泳動装置。
【請求項６】
請求項４記載の電気泳動装置であって、
支持基板が、キャピラリヘッドを可動に支持している電気泳動装置。
【請求項７】
請求項１記載の電気泳動装置であって、
支持基板が、並列配置された複数のキャピラリを覆い、試料からの蛍光を透過する検出窓を複数備えた遮光部材を有し、
複数の検出窓が、キャピラリの略垂直方向には並んでいない電気泳動装置。
【請求項８】
請求項７記載の電気泳動装置であって、
検出窓が階段状に配置されている電気泳動装置。
【請求項９】
請求項１記載の電気泳動装置であって、
支持基板の一部に光を透過できる光透過領域があり、
複数のキャピラリの一部分を光透過領域上に配置し、
キャピラリを固定した支持基板表面の反対側から、キャピラリに励起光を照射する電気泳動装置。
【請求項１０】
請求項１記載の電気泳動装置であって、
キャピラリの一部を支持基板に固定し、複数のキャピラリをキャピラリアレイに配置している電気泳動装置。
【請求項１１】
請求項１記載の電気泳動装置であって、
支持基板上に配置された複数のキャピラリが、互いに交差していない電気泳動装置。
【請求項１２】
以下の構成を含むキャピラリアレイ：
泳動媒体を充填できる複数のキャピラリ：
電気泳動装置のヒータに接触できる表面を備え、該表面に複数のキャピラリアレイを配置し、前記複数のキャピラリアレイを前記ヒータで直接温度制御可能とする支持基板。
【請求項１３】
請求項１２記載のキャピラリアレイであって、
支持基板が、励起光が照射される複数のキャピラリを整列配置する検出基板を支持しているキャピラリアレイ。
【請求項１４】
請求項１２記載のキャピラリアレイであって、
支持基板が、複数のキャピラリに対応した複数の電極を保持する電極保持部材を備えているキャピラリアレイ。
【請求項１５】
請求項１２記載のキャピラリアレイであって、
支持基板が、複数のキャピラリの泳動媒体注入端を束ね、泳動媒体充填機構と接続できるキャピラリヘッドを支持するキャピラリアレイ。
【請求項１６】
請求項１５記載のキャピラリアレイであって、
複数の泳動媒体注入端が、キャピラリヘッドから突出して保持され、
電気泳動装置の泳動媒体充填機構にキャピラリヘッドが接続された際に、複数の泳動媒体注入端が下方を向いているキャピラリアレイ。
【請求項１７】
請求項１５記載のキャピラリアレイであって、

支持基板が、キャピラリヘッドを可動に支持しているキャピラリアレイ。
【請求項１８】
請求項１２記載のキャピラリアレイであって、
支持基板が、略並列配置された複数のキャピラリを覆い、試料からの蛍光を透過する検出窓を複数備えたマスクを有し、
隣り合う検出窓が、キャピラリの略垂直方向には並んでいないキャピラリアレイ。
【請求項１９】
請求項１８記載のキャピラリアレイであって、
検出窓が階段状に配置されているキャピラリアレイ。
【請求項２０】
請求項１２記載のキャピラリアレイであって、
支持基板の一部に光を透過できる光透過領域があり、
複数のキャピラリの一部分を光透過領域上に配置し、
キャピラリを固定した支持基板表面の反対側から、キャピラリに励起光を照射できるキャピラリアレイ。
【請求項２１】
請求項１２記載のキャピラリアレイであって、
キャピラリの一部を支持基板に固定し、複数のキャピラリをキャピラリアレイに配置しているキャピラリアレイ。
【請求項２２】
請求項１２記載のキャピラリアレイであって、
支持基板上に配置された複数のキャピラリが、互いに交差していないキャピラリアレイ。